

以身伝しんぶん

(記者 冬木)

冬木記者八幡堀まつりレポート

本号の記事はすべて、記者クラブメンバーの冬木記者によって執筆されたものです。冬木記者による、八幡堀まつりレポートをお楽しみください。

八幡堀まつりが開催されました！10月13、14日にかけて、ポードレス・アートミュージアムNO-MAの近く、八幡堀周辺と町並み一帯はローソクやLEDの灯りに照らされ、いつもとは違う雰囲気となりました。

つり町くまのしんぶん
八幡堀まつり
近江八幡にぎ



NO-MAのENGAWAでの光景。幻想的な夜に映える親子ふたり。

もちろん、観覧会会場であるNO-MAや奥村家住宅もローソクの灯りに包まれ、ご来場いただいた方々も家族・お子さま連れが多く

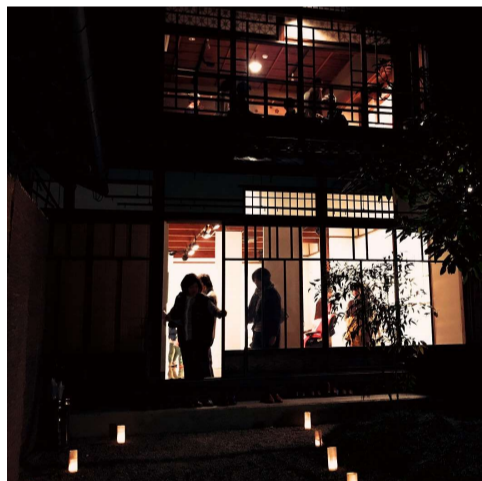
見受けられました。いくつかの記事にわたって、普段とは違う町並みの八幡堀周辺をご紹介します。

2階に上がれば、草薙陵太さんの絵画作品を迫体験できるような用意された画用紙に、一生懸命ペン先を打ちつけています。

八幡堀まつりのポードレス・アートミュージアムNO-MAは、お子さま連れの家族で大賑わいでした。なかでも、お子さまたちが気になるのは、徳山彰さんの「触れる」陶芸作品や点字表記・「触図」森田寅さんの「座れる」姿勢保持装置。

活きと輝いてみえた、八幡堀まつりの日のポードレス・アートミュージアムNO-MAで、触図による図形認識を可能にするもの【触図・描かれている図に凹凸があることで、触覚による図形認識を可能にするもの】

NO-MAも奥村家住宅も



NO-MAにも明かりが灯りました。

ポードレス・アートミュージアムNO-MAだけではなく、第2展示場の奥村家住宅もローソクやLEDの灯りに包まれ、とても情緒ある雰囲気となりました。

八幡堀まつり
10月13日(土)
10月14日(日)

こちらの作品に出会うと、より一層心臓が跳ね上がるような鎌田紀子さん作のお人形がスクロールすると「はじめまして」のご挨拶です。



八幡堀まつりの時の奥村家住宅の前の様子



竹細工の展示も綺麗です。

夜のこの作品に出会うと、より一層心臓が跳ね上がるような鎌田紀子さん作のお人形がスクロールすると「はじめまして」のご挨拶です。その他、地元農家さんの採れた野菜なども

八幡堀周辺や町並み一帯がローソクやLEDのやわらかな灯りに包まれる中、観覧会会場でもある奥村家住宅にもたくさん光が集まっています。展示会の作品鑑賞はもちろん、ぜひご覧いただきたいのが、市民の方々が竹を切つて彫り、細工された竹筒灯籠です。

ご存知でしたか？
近江八幡の竹細工



ポードレス・エリア記者クラブInstagramアカウントはこちら
https://www.instagram.com/borderless_area_kisya_club